

Confidential

株式会社テクノマセマティカル

2008年3月期 第3四半期決算および 今後の見通しに関する説明会

■ Algorithm Specialist

TMC

2008年2月19日

< 注意 >

本資料は実際の説明会で使われたものの抜粋となります。あらかじめご了承ください。

Agenda

1. 2008年3月期 第3四半期決算の概要
2. 通期業績予想の修正について
3. 今後の見通し / 業績回復のための取組

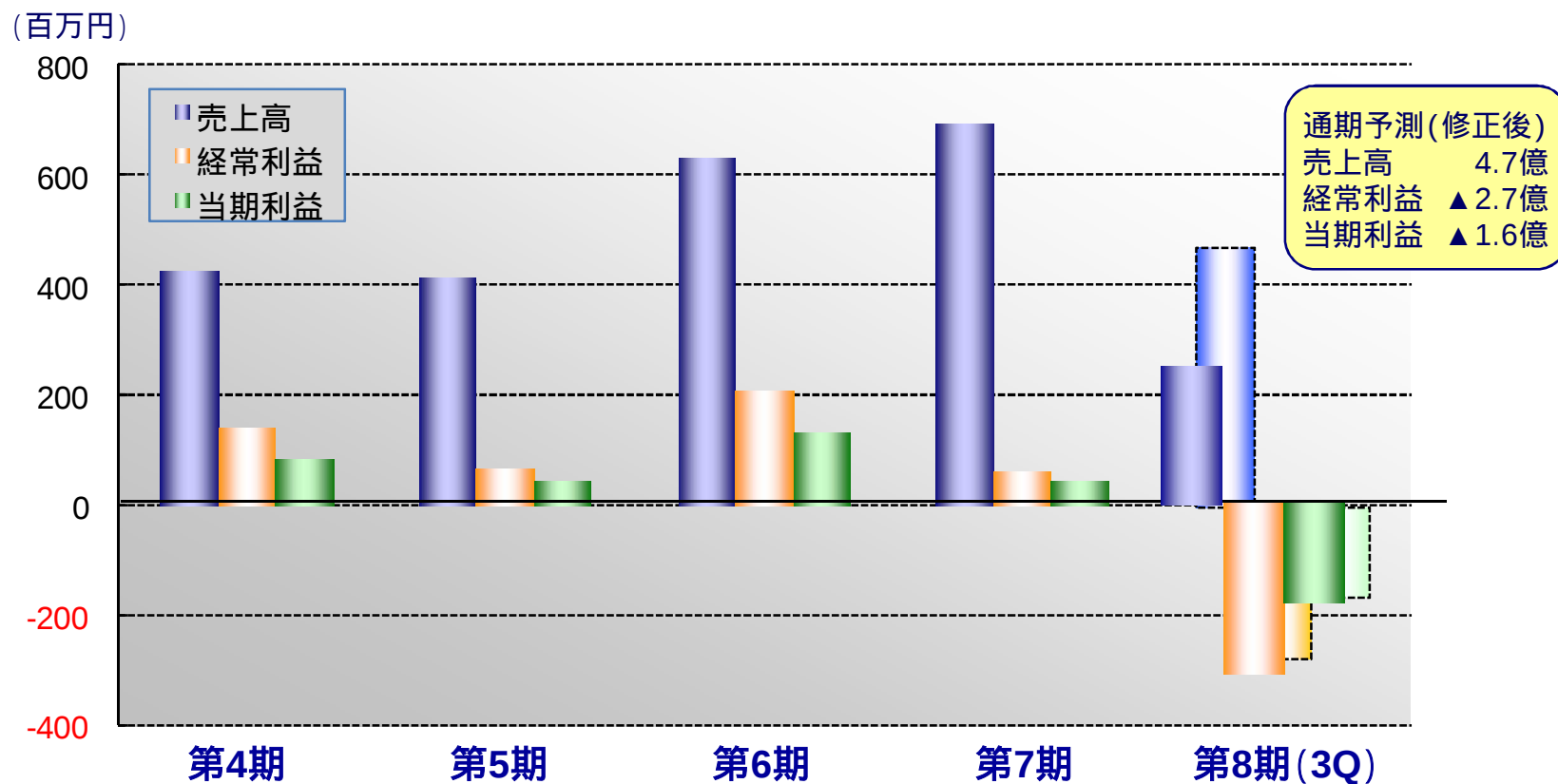
本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1. 2008年3月期 第3四半期決算の概要

1-1 業績の推移

◆ 売上高 前年同期増減比 マイナス47% 第3四半期損失 1.88億円



売上高	427	411	631	692	240	(単位:百万円)
経常利益	142	66	207	62	▲320	
当期利益	84	44	134	41	▲188	

1-2 損益計算書 (2007/4/1 - 2007/12/31)

(単位：百万円)

	2008年3月期 第3四半期	構成比	前年同期 増減比	前年同期
売上高	240	100.0%	▲47.0%	453
売上総利益	101	42.2%	▲72.2%	364
販売管理費	429	178.7%	+32.6%	324
営業利益	▲328	▲136.5%	-	40
経常利益	▲320	▲133.4%	-	28
四半期純利益	▲188	▲78.6%	-	16

1-3 貸借対照表 (2007/12/31時点)

(単位:百万円)	2007/12末	構成比	対前年同期 増減	2006/12末
流動資産	4,056	95.3%	▲87	4,144
固定資産	201	4.7%	▲49	251
資産合計	4,258	100.0%	▲136	4,395
流動負債	83	2.0%	+12	70
固定負債	-	-	▲1,000	1,000
純資産	4,174	98.0%	+850	3,324

2. 通期業績予想の修正について

Algorithm Specialist

TMC

2-1 2008年3月期(通期)の業績予想修正

(単位:百万円)

	期初計画 (前回発表)	修正予想	増減額	増減率	前期実績
売上高	1,100	470	▲630	▲57.3%	692
営業利益	241	▲289	▲530	-	85
経常利益	249	▲277	▲526	-	62
当期利益	163	▲166	▲329	-	41

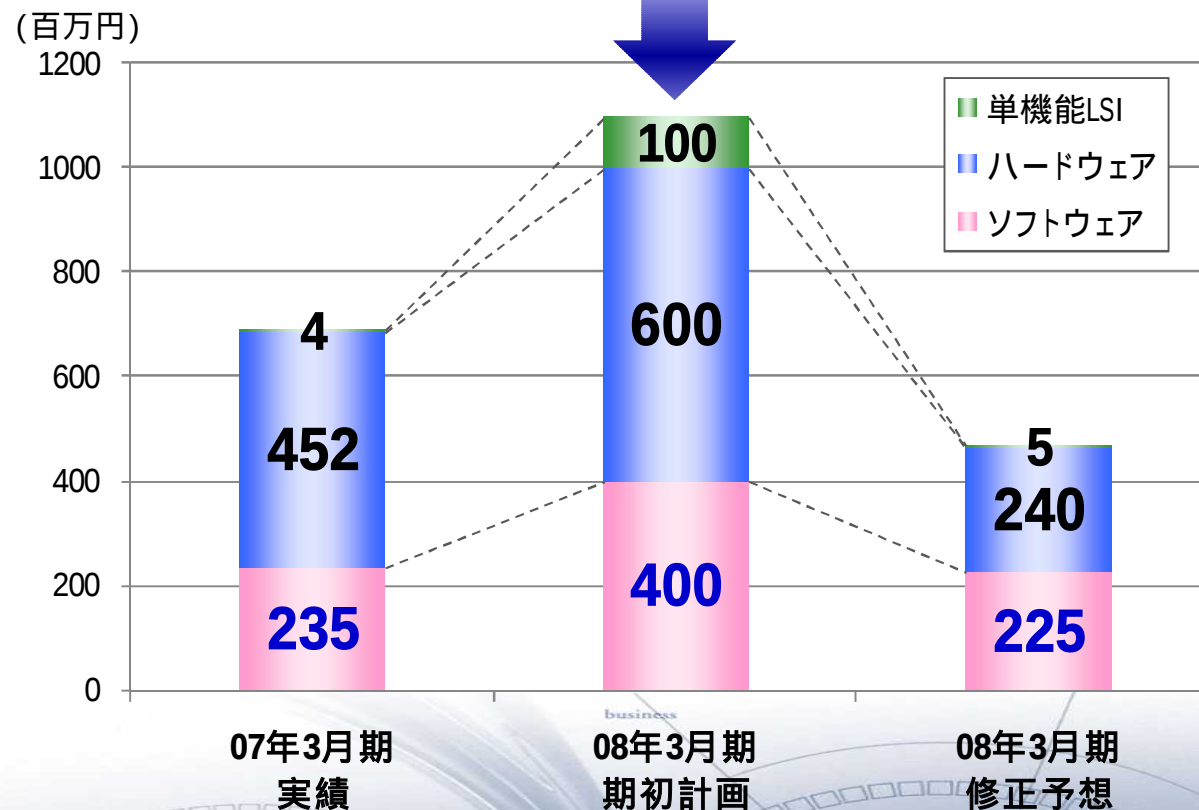
主な修正要因

1. 主要案件の失注
2. 顧客都合によるプロジェクトの消滅
3. ロイヤルティ収入の発生の遅れ
4. 単機能LSI予算の未達成 = 販売体制の整備の遅れによる

2-2 売上修正の内訳(事業区分別)

期初計画時の見込み(2007年5月時点)

- ソフトウェアライセンス = 携帯機器関連で新規増の見込み
- ハードウェアライセンス = 現状の伸びを維持
- 単機能LSI = 本格的な立ち上げ、第2弾製品の開発・販売開始



なぜ
乖離した
のか？

2-3 事業区分別修正の要因(1)

◆ ソフトウェアライセンス

- ワンセグ関連製品の販売が減少

ソフトウェアソリューションからハードウェアソリューション
へ転換が予想以上に速かった

◆ ハードウェアライセンス

- 前期の中心商品だったH.264 HDの拡販ができなかった
= 大型案件が取れなかった
- 顧客ニーズへの対応が遅れた
- 新規商品「DMNA-Vシリーズ」の販売体制の確立の遅れ

2-3 事業区分別修正の要因(2)

◆ 単機能LSI

- 販売体制が確立できなかった
- 新規製品の開発ができなかった

3-3 来期の活動計画

◆ ソフトウェア

- 特徴(低ビットレート、高画質、低プロセッサ負荷)を生かせる分野を攻める

◆ ハードウェア

- ニーズに合致した製品開発

◆ 単機能LSI

- 第2弾製品の開発・販売開始

3-4 来期に向けての課題

- ◆ 中期計画に基づく、商品別売上の予測精度向上
- ◆ 営業手法の抜本的な見直し
= 代理店戦略も含め、狙いの分野に絞って攻めることのできる体制づくり
- ◆ 検証手法の確立による製品品質の向上

アルゴリズムの分野で
世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございます。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 管理部

TEL: 03-5798-3636 E-mail: ir@tmath.co.jp